

# 貧困家庭の子どもの誕生日祝い支援（日本財団助成事業）

## 報告書

2022年はチャリティーサンタとして、誕生日支援に大きく乗り出した年となりました。2021年より準備と試験的な実施をしておりましたが、必要な家庭へ継続的に届けるため、地域を全国に広げて届けはじめました。

お誕生日の支援はクリスマスのような季節行事とは異なり、毎月実施をするものとなり、また子どもたちにとって大切なアニバーサリーであることから、始めるからには簡単には投げ出せないもの、と覚悟をきめて始めたプロジェクトになります。

継続の寄付があるということは、本当に心強く、スタッフ一同、事業を続けていく勇気をいただきました。

皆様には改めて御礼申し上げます。

今回は改めて、2022年度（助成先の年度に合わせ、2022年4月～2023年3月）の支援の中でも、家庭の状況を抜粋し報告させていただきます。

また私たちは「誰かを笑顔にしたい気持ち」がサンタクロースだと思っています。

どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

2023.3月

NPO 法人チャリティーサンタ



チャリティーサンタ  
**Charity Santa**

<http://charity-santa.com/>

## 1. 提供のケーキのお届け数について

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
15	16	22	27	31	40	182	186	209	183	122	284	1317

(※3月分は現在ケーキ店から集計を行っているため、予定数になります。)

寄付者の寄付金額に基づき、寄付総計を12ヶ月で割りながら上限を決め、抽選をさせていただきます。 (月毎の当選数に大きな差を生まないため)

クラウドファンディングを8月に終え、定期寄付も集める段取りを進めながら、9月から全国の対象家庭に向けて10月生まれのお祝い募集を開始しました。

結果、10月以降多くのご家庭に届けることができています。

※最終的な寄付の累計などはチャリティーサンタの事業年度末に締めたのち、事業報告の中でお知らせいたします。

(チャリティーサンタの事業年度は6月1日～5月31日となっており、年度が終わった後に報告書を作成予定です。)

### <届いた家庭の声>

「ひとりで子どもを育てるなかで経済的にもきつくて、いつもカットのケーキ、またはプリンなどで子どもにとってホールケーキは憧れだったようです。

本当に助かりました。

私自身、こんな形で応援してもらえてるんだと、ひとりで育てているけれど一人じゃないんだと思い、また力をもらえた気がします。

県内に親兄弟はもちろん、親戚もいないなか、もう無理かなって思うことも多々あり、同じシングルマザーでもおじいちゃん、おばあちゃんが面倒見てくれていたり、近くにいてくれる家庭を羨ましく思うことや卑屈になってしまうこともあります。

でも、たったひとりじゃないとおもえます。

ありがとうございました。」

「そもそも特に実家の支援等が受けられない母子家庭は条件的にも厳しく、企業側も正規雇用も控える傾向があったのに、コロナ禍で就労先がなくなってしまうたりしたら本当に厳しい状況の方ばかりだと思います。

うちはまだ、公営住宅が当たったから家賃は相場の半分程度で済んでいます。実家も頼れず、公営住宅の当選もない家庭は住むところの維持だけでも本当にキツイと思います。

食費すらもままならない家庭は、誕生日だからとお祝いすらできないはずで、幼い頃の思い出がケーキすらなかったなんて悲しすぎます。

できればこれからも続けて行ってほしいと思います。」

「私は離婚をしているので、離婚しなければ、父親もいるちゃんとした家族で誕生日を祝うことができるはずなのに、家族揃って誕生日を祝うことができないので、子供に寂しい思いをさせていると思うと、悲しくなります。今回のようにチャリティーサンタさんからの誕生日ケーキのプレゼントは、子供がとても喜んでいたので、それがすごく嬉しかったです。まだ子供は5歳で小さいので、今回の誕生日を将来覚えてくれているかは、わかりませんが、誕生日楽しかったなという思い出が少しでも残っていたら嬉しいなと思います。シングルの方は、私のような思いをしている方もいらっしゃると思うので、誕生日ケーキのプレゼント企画を今後も継続していただくと、子供さんも親御さんもすごく元気になると思います。」

「毎年、パンケーキに生クリームと、果物でトッピングした手作りでしたので、既製品のケーキに大興奮していました。味も美味しくて、家族みんなで幸せなお祝いをする事が出来ました。

経済的に余裕がないですが、子供のために、どの家庭も一生懸命に働いて必死に暮らしています。子供の望むプレゼントを準備するのもやっとで、特別なケーキを準備する余裕は正直あまりないです。今まで、パンケーキに飾り付けすることで、喜んでくれていましたが、既製の生クリームケーキを新鮮そうにみていて、とても喜んでいました。

これからも続けて頂けたら大変感謝致します。宜しくお願い致します。」

「家族みんなの体調不良で誕生日よりだいぶ日にちが遅れ、かつテスト勉強をしなければならぬ状態の日となってしまうましたが、ケーキを頂きながら、妊娠がわかった時や生まれた日の事を久しぶりに話しをする事が出来、「ケーキ食べられたから勉強頑張る！」と、いつもより遅くまで頑張って勉強していました。

今回、親子で痛感したのは「ケーキは贅沢品」という事でした。アイスクリームやクッキーと違い、ケーキはその値段に対して「あっという間」に食べ終わってしまうのですよね。

でも、その束の間の「マジック」はとても大切な物だとも思いました。

経済的にも気持ち的にもデコレーションケーキを買う気になれない状態で、また子供達の日常の中に特別を感じるイベントを全くしてあげていなかった事もあり、自分が生まれて来た意味やアイデンティティーを模索している子供にとって、私以外の「誰か」からのサプライズのようなケーキのプレゼントは、素直に「お誕生日をお祝いしてもらった」と喜ぶ事が出来る良い時間を作ってくれました。

本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。」

「娘はまさか誕生日ケーキがあるとは夢にも思っておらず（誕生日当日は平日だったので）学校から帰ってきてホールのケーキを見た途端、大喜びで大はしゃぎでした！  
いつも、仕事が忙しくあまり相手を出来ず、その割に低収入で日頃から我慢をさせるばかりだったので、喜んだ顔を見て私も嬉しくなりました。  
娘の笑顔の為に私もこれからも頑張ろうと活力をもらえました！  
美味しいケーキと温かい気持ちをありがとうございました！  
シングルマザーでも、家族や元配偶者が援助してくれたり協力的で何不自由もない裕福？な方も居ますが、私のように頼る家族もない低収入なシングルマザーもいます。  
もちろん頼る家族がいなくてもお金がある方ならファミサポなどが利用できるのですが、私にはそんな余裕はありません。  
周りは両親が揃った家庭ばかりだからこそ父親が居ないことやお兄ちゃんと引き離されたこと離婚前と離婚後で生活が変わってしまったことで娘に我慢や気を遣わせてばかりの毎日でした。  
だからこそ、今回の寄付はすごくありがたかったです。  
娘の誕生日に娘の笑顔を見れて、喜んでもらえてすごく私自身も心がポカポカしました。  
可能であれば支援を続けていただけるとありがたいです。」

## 2. どんな家庭に届いている？ 家庭からの応募の中から見えること

シェアケーキの対象家庭は生活保護世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助の受給世帯を対象に支援を実施しております。

現在、多くは児童扶養手当の受給世帯となっています。児童扶養手当は主にひとり親世帯を対象とし、所得の制限付きの中で支給されるものになります。

子どもの小さなひとり親世帯ではフルタイムで働くことが困難な家庭も多く、貯金なども難しく自転車操業の中にある家庭も少なくありません。

特に新型コロナの影響で休まざるをえない状況による収入減少や物価高によるしんどさを感じているおうちも数多く見られました。

「死別のひとり親で、子供が3人います。小さいので、フルタイムで働くことができず、ギリギリの生活です。」

「仕事もパートですが、なかなか毎月思うように収入も少なく養育費も無いため毎月苦しい家計となっております。誕生日位はちゃんとお祝いしてあげたいと思います。」

「コロナ禍で失業してから貯金を切り崩して生活しておりますが、お恥ずかしいことに今

現在も仕事に就くことが出来ておりません。  
近年の生活費関わる費用の値上げラッシュにより次第に生活が苦しくなってきました。  
今年の誕生日もどうやって開催しようかと考えめぐねていたところ、誕生日ケーキのプレゼントメールをいただきました。」

#### 支援制度の抜け漏れの中で、しんどさを抱えている「見えづらい困窮」

ただ、上記の対象となる制度受給をしていない家庭であっても様々な事情があります。  
一番多いものが「離婚調停中」というものです。

離婚調停中はまだ離婚が成立していないため、児童扶養手当の受給ができません。この調停中の中でもDVを受け、逃げてきた家庭については離婚をするというのも労力が何倍も高く、困難を抱えている声も多く届いております。

また、児童扶養手当は「前年の所得」に基づいて計算をされるため、現状ベースでは困窮の中にあり、支援が必要な状態にあっても、公的な支援に結びつかないという家庭もおられます。

「元々児童扶養手当受給者でしたが、不払いの養育費がまとまってしはらわれ、現況調査できさいをしたら、まとまった金額が所得とみなされ、児童扶養手当が止められています。

雇い止めになり就活していますが、いまだにきまりません。」

「正社員を退職し3つのパートの掛け持ちを始めたことで、一緒に居る時間も減り、遊ぶ時間も少なくなっていました。経済的にも苦しく、不安でいっぱい毎日ですが、子どもの笑顔を見ることでなんとか毎日過ごしています。」

実はこういった世帯は支援に最もつながりにくいところでもあり、シェアケーキではこのような声をヒアリングしながら、状況に応じて確認をしながら支援を行なっております。

## シェアケーキだからこそできること。

シェアケーキの始まりは「生まれた日を嫌な思い出にしてほしくない」という気持ちからでした。

チャリティーサンタでは、このプロジェクトを通して、子ども自身が誕生日を通して「自分が大切にされているという実感」を感じてほしい、と願っています。

それと同時に、誕生日が誰しも持っているものであり、子どもの誕生日のお祝いは子育て家庭のニーズが高いこともわかっています。

家庭が本当に必要としているものだからこそ、このプロジェクトは支援の入り口になるのだと考えています。つまり、誕生日のケーキを支援することで、これまで外部の支援などにつながれていなかった家庭と手をつなげる最初の一歩になりえる、と考えています。

シェアケーキでは宅配ケーキを行う cake.jp と連携することで、どんなエリアに住んでいても対応ができるようになりました。

また、地域のケーキ屋との連携により、社会の暖かさを家庭が肌で実感し、前向きになる瞬間もたくさん届いております。

2023 年も皆様のご支援のもと、家庭の思い出に寄り添えるよう、しっかりと取り組みたいと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。